

# 親子聖書日課

NO.1933 2025.10/12-18

名前

[日]旧約の最後で、主は「モーセの教えを思い起こせ」と言われました。その中には、厳しすぎて思い出したくないものがあるでしょうが、私達を罪の滅びから救い出すためです。御言葉に聴き従うことによって、実りある人生を歩むことができます。

[月]聖書日課は、9巡目に入ります。今日生きる力として、御言葉に聴き従いましょう。主は私達の罪を裁くためではなく、「罪から救う」ために世に来られ、私達と共に、生涯歩んで下さいます。主を信じるなら、「神は我々と共におられる」のです。

[火]占星術の学者達は、星とメシア預言(ミカ5:1)に導かれ、救い主を求めました。主イエスを見た時、信じ、礼拝し、最善の物を捧げました。求道→信仰→礼拝→献身と、私達も信仰の高嶺を目指しましょう。必ず、「喜びに溢れた」人生となります。

[水]「悔い改め」は、後悔ではありません。神に背を向けた生き方を止めて、神の下に立ち帰ることで。それは「ごめんなさい」と、罪を告白することから始まります。「悔い改めにふさわしい実(愛、喜び、平和・・)を結ぶ」には、御言葉に従うことです。

[木]悪魔の巧妙な手口に騙されてはいけません。「石がパンになるように」とは本能的な欲望に、「飛び降りたらどうだ」は虚栄心に、「これをみんなに与えよう」は所有欲に迫ってきます。誘惑に打ち勝つためには、主の言葉に従うことです。

[金]「富んでいる人」「喜んでいる人」が幸せなのではありません。「心の貧しい人」「悲しむ人」こそ幸せなのです。それは、自分を誇らず、素直な心で主により頼むので、主から大きな慰めや憐れみを頂くことができるからです。幸せな人になりましょう。

[土]「バカ」と言われたら、誰でも腹が立ちますね。中には、カッとなって、相手に危害を加える人もいます。言葉は凶器になります。ですから、相手に反感を与えてしまった言葉を思い出したなら、後回しにしないで、すぐに謝り、仲直りしましょう。



	聖書	問題	答え
日	マラキ 3:13-24	わが僕モーセの教えをどうすべきですか。	
月	マタイ 1:1-25	インマヌエルとは、どんな意味ですか。	
火	2:1-23	学者たちはその星を見てどうしましたか。	
水	3:1-17	何にふさわしい実を結ぶべきですか。	
木	4:1-25	人は何の口から出る一つ一つの言葉で生きるべきですか。	
金	5:1-16	平和をどうする人々は幸いですか。	
土	5:17-32	訴える人と一緒に道を行く場合、途中で早く何をすべきですか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	